

研究課題 (テーマ)	県内インターンシップの拡充と進路指導の一体化による 効率的な県内定着の推進		
研究者	所属学科等	職	氏名
代表者	電子・情報工学科	教授	奥原 浩之
	電子・情報工学科	教授	石坂 圭吾
	電子・情報工学科	准教授	唐木 智明
	電子・情報工学科	准教授	榊原 一紀
研究結果の概要			
<p>県内企業インターンシップの周知を通じ早期に興味を持ってもらうことで進路指導での県内定着につながる。そこで、本学科の1年生や2年生といったインターンシップに取り組む前の低学年の学生も対象に広げて、企業見学会受入れ先等と学生のマッチング機会の複数回の提供や、卒業生を含む県内企業の若手情報技術者と学生による学内交流会の場も複数回設けた。開催日とご協力いただいた卒業生が勤務する企業は以下の通りである。明記し、改めて感謝申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 10月31日 富山村田製作所 • 12月18日 株式会社不二越 • 12月20日 北電情報システムサービス株式会社 <p>長期的に県内企業に触れる機会をつくり、県内企業を強く意識付けるため、さらに、電子・情報系の企業と共に機械系や環境系などの企業見学会を実施し、業務内容や実際の現場を見学し、本学科の学生が携わることができる業務について理解を深めた。開催日とご協力いただいた企業は以下の通りである。明記し、改めて感謝申し上げます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 11月7日 東亜合成株式会社 • 11月15日 コマツ NTC 株式会社 • 11月21日 キタムラ機械株式会社 • 11月29日 北陸建工株式会社 • 12月5日 クラシエ製薬株式会社 <p>県内企業での仕事、働き方をOB等から直接聞くことにより、富山県での人生設計をより実感できるように活動した。実際の現場を見学し、県内企業における電子・情報系の人材の必要性を学生が認識することができ、富山県内での就職を考えるきっかけを与えることができた。同時に情報系の企業を複数見学したことで、業務内容の比較ができ、学生の就職先の視野を広げることができたこともキャリア形成における成果と考える。最後に報告会を開催してアンケート分析結果を含めて成果をアピールした。</p>			
今後の展開			
<p>今後は、新型コロナウイルスの様子にもよるが、可能なら学生と県大OB、県内企業関係者との会合の場を複数回設け、学生らと若手情報技術者による合同作業を実施することで、学部の2年生や院進学 of 4年生に早い時期から県内インターンシップや県内就職へ興味を持ってもらう機会を設ける。場合によっては、遠隔会議などの仕組みを活用して本年度の成果をさらに発展させて継続していく工夫が求められる可能性がある。その目的を達成するために必要となる遠隔会議のシステムを構築するため、Webカメラ、スピーカーマイク、レーザーポインタや動画配信機器の物品を今年度の予算で購入し準備した。さらに企業の方と直接話ができる場として、情報交換会を企画する。この情報交換会において、学生が本学で活動していることをポスターにして、企業の方に説明することになっている。そのため、ポスターを作成するための大型プリンタを準備した。</p>			